

株式会社 福岡タルク工業所

〒820-0608 福岡県嘉穂郡桂川町豆田151
TEL 0948-65-3411 HP <https://www.fukuoka-talc.jp/>

公式HP

業 種 無機化学製品製造業
従業員数 21名
資 本 金 3,400万円

事業内容

加工技術を工夫し、安定した品質で多様なニーズに対応

1959年、滑石鉱山を開発し農業のキャリアおよび製紙フィラー向けのタルク製品メーカーとして発足。製紙や印刷技術の高度化に伴い高品質タルクの需要が高まり、タルク専門メーカーとして発展。西日本地区の製紙および塗料における顧客のニーズに応える供給体制を構築。



改善成果のポイント

訪問支援回数 | 12回 (支援期間: 11カ月)

- 受注データベースの構築によりデータを一元化
- 表計算ソフトマクロの活用による手書き作業削減とミス撲滅を実現



株福岡タルク工業所

Q どんな困りごと(課題)がありましたか？

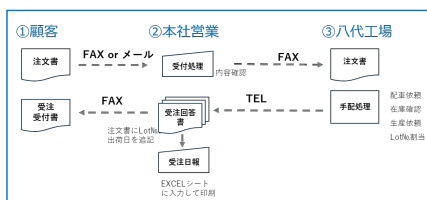
改善前の当社では、顧客からの注文情報を手書きの書類や連携のない表計算ソフトでアナログ的に管理しており、各部署に類似の管理簿が存在していました。営業部門では表計算ソフトで受注情報をまとめ、受注日報として社内へ報告していたものの、データは活用されていませんでした。八代工場では出荷情報を表計算ソフトに入力し、出荷日報として報告していましたが、出荷準備に使用するリストや指示書には、注文書から転記した手書きのメモを使用していました。総務部門では出荷日報の情報を出荷表に手書きで転記し、受注日報と照合したのち、売上情報を販売管理システムに手入力していました。管理簿や日報が複数存在しながら相互連携されていないため、業務は煩雑でムダが多く、属人化によってミスも起こりやすい状況でした。

このようなアナログ的な事務作業の削減や属人化を課題として、受注から出荷・請求までを一元管理できるシステムと社内での情報共有とデータの有効活用することを目指しました。

課題 4



原料のタルク (滑石)



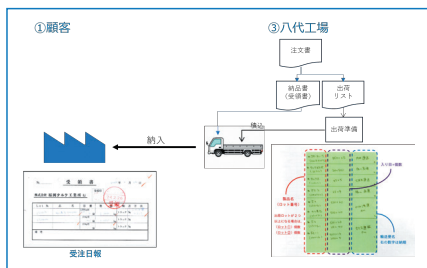
改善前の受注時の業務フロー

Q 改善の取組み内容を教えてください

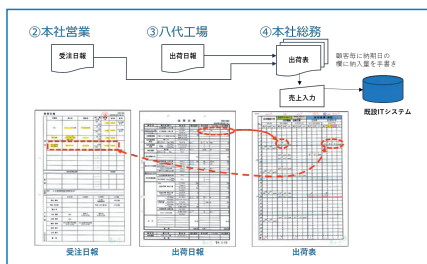
社内での情報共有の実現に向けて、表計算ソフトを使用した受注データベース(DB)の構築に取り組みました。DBの設計にあたり、①業務のアウトプットに即したワークシートで構成する、②手書き作業を可能な限り排除するため表計算ソフトの自動化プログラムを使用する方針で進めました。

また、DBへのアクセス用にフォームを作成し、トップ画面にメニューを設置、各種処理を選択・実行できる仕組みとしました。展開される処理画面では、各種日報や帳票の印刷機能を持たせ、手書き作業の削減を図りました。加えて、製品別納入量の推移や月度の製品別納入量をグラフ表示させ、売上げ増減の要因解析や次月の生産計画への反映が可能となりました。さらに、販売管理システムへの転送用メニューも作成し、期間指定で売上情報を抽出して、CSV形式で転送することで、手入力作業を省力化しました。

加えて、属人化対策として、構築したDBの操作を含む業務フローを見直し、確実な標準化を推進しました。



改善前の出荷業務の業務フロー



改善前、納品と請求の業務フロー

Q 取組んで良くなった点を教えてください

メインの
効果
(改善点)

データベースの導入により、社内の情報共有が可能となりました。従来使用していた複数の手書き管理簿や帳票の廃止と、各種日報の出力が可能になったことで、大幅な作業時間短縮を達成しました。

具体的には、総務部門では売上入力、受領書確認、実績・売上日報作成等で138分/月の削減、営業部門では日報作成、製品別納入量集計等で73分/月の削減、本社全体では211分/月の大幅削減を達成しました。さらに、八代工場では出荷指示書作成等の改善によって、235分/月の作業時間を削減できました。

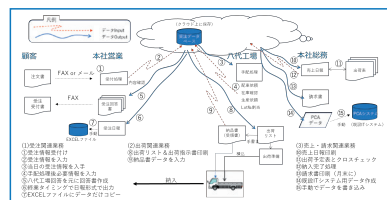
副次効果

データ連携ができるようになったことで、改善前に八代工場で平均年4回の頻度で発生していた出荷ミスが撲滅できました。

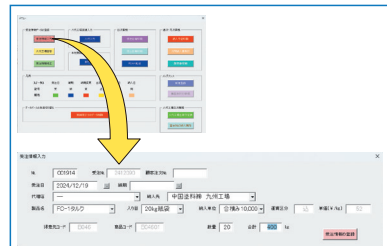
データベースの活用により、実績の見える化だけでなく、マシン停止期間前に在庫保有数の算出シミュレーションなどにも活用できました。

今後の目標

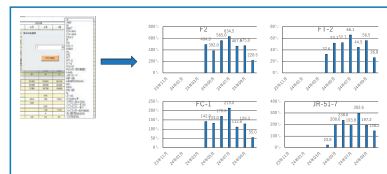
データベースを日々確実に運用するだけでなく、保守管理および活動期間中に気づいた課題を解決するため、表計算ソフトのプログラミングスキルの向上に努めます。また、業務の標準化の完成度を高めると共に、多能工化の推進にも取り組みます。



DB構築と改善後の業務フロー



トップメニューと受注情報入力画面



データベース活用例 (製品別売上げグラフ)

企業様の声

受注データベース導入により、散在していた情報が一元化され、必要な帳票やデータがすぐに取り出せるようになりました。業務の見える化が進み、属人化の解消にもつながっています。また、生産計画のシミュレーションや資料作成もスムーズになり、事務作業面での効率化を実感しています。今後は今回の学びを活かしながら、更なる業務改善、生産性の向上に取り組んでまいります。

株式会社 福岡タルク工業所
管理部
土田 聡子 様

生産性アドバイザーから一言

受注情報から各種日報や実績表を手書きなしでアウトプットできるシステム構築に取り組みました。活動した2名の担当者は、最初は戸惑ったところもあったようですが、積極的に活動してくれて、最後はできあがったデータベースを使う新しい業務フロー図を完成させて自社の手の内化ができました。彼女らの表計算ソフトスキルと改善マインドが活動を通して上達したことが何より良かったです。

生産性アドバイザー
山下 博